

秋田県立横手城南高等学校吹奏楽部

第19回 定期演奏会



令和3年6月5日(土)

横手市民会館大ホール

プログラム

第1部

Classical Stage

●ナヴァル・ブルー

作曲：真島俊夫

ナヴァル・ブルーとは、フランス語でネイビーブルーを意味しています。この曲は早いテンポの軽快なマーチで、全体にうきうきするような感じが特徴です。短い序奏の後、ホルンにより勇壮な第1テーマが吹き鳴らされます。そしてトロンボーン、トランペットに受け継がれ、木管によるブリッジを経て第1テーマが再現され、高らかなファンファーレに到達します。中間部では穏やかな第2主題が木管楽器によって美しく歌われ、やがて高揚し再び第1のテーマに戻り、華やかなファンファーレを鳴らして曲を閉じます。

●桜華幻想

作曲：福島弘和

この曲は、桜を眺める人々の内面に焦点をあてて作曲され、桜が咲き誇る姿や花びらが舞い落ちるようなイメージも描写されています。冒頭のゆったりとしたテーマが、様々な形に展開され、途中テンポが速い部分を中心に曲が進んでいきます。作曲者は、桜には人が自らの生を振り返らせ、以前はあって今は無くなってしまったものを思い出させるタイムカプセルのような不思議な作用があり、曲の後半で、前半の提示部が再現された際に、昔のことを思い出す感覚を感じていただきたい、そして毎年必ず花開く桜が人々の生きる力を呼び起こしてくれると述べています。

●組曲「ハーリ・ヤーノシュ」より

Ⅱ ウィーンの音楽時計 Ⅳ 戦争とナポレオンの敗北 Ⅴ 間奏曲

Ⅵ 皇帝と廷臣達の入場 作曲：コダーイ・ゾルターン

タイトルの「ハーリ・ヤーノシュ」は、ハンガリー版「ほら吹き男爵」とも言うべき人物で、周囲に、“七つの頭のドラゴンを退治した”、“ナポレオンに打ち勝って捕虜とした”、“オーストリア皇帝の娘から求婚されたが断った”などの荒唐無稽な冒険談を語って聞かせる初老の農民です。コダーイが作曲した劇音楽から6曲を抜粋して演奏会用の組曲『ハーリ・ヤーノシュ』が作られ、代表的な管弦楽作品として今日に至っています。どの曲も魅力的な旋律にあふれ、色彩豊かな音楽が特徴的です。本日はこの中から4曲を吹奏楽アレンジでお送りします。

第2部

企画 Stage

●崖っぴちアイドル 事務所に入って早5年。なかなか芽が出ず悩

んでいる3人のもとに、小山プロダクションのタカシが現れ・・・

ここから3人のアイドル人生が幕を開ける！！



第3部

Pop Stage

●Dancing Queen

作曲：ベニー・アンダーソン

スウェーデンのコーラスグループ、アバの代表曲の一つで、世に出されてから40年以上経つにも関わらず、いまだに様々な場面で聴かれることが多く愛され続けている1970年代からの定番曲です。

●Anime Song Trance Mix Collection

編曲：郷間幹男

「銀河鉄道999」から「新世紀エヴァンゲリオン」まで、誰もが1度は聞いたことがあるアニメの主題歌をトランス風にアレンジしました。アップテンポで展開される音楽にノリながらお聴きください。

●天城越え

作曲：弦哲也

編曲：山下国俊

1986年に石川さゆりによって発表され、演歌の大定番となりました。女の情念を劇的に表現した傑作です。

●L-O-V-E

作曲：B.K.&M.G.

編曲：黒川さやか

ジャズピアニスト・歌手ナット・キング・コールの1965年の作品。日本でも、TOYOTA「エスティマ」のCMに使われるほど、有名な楽曲です。

●A Disneyland Celebration

編曲：マイケル・ブラウン

2005年に50周年を迎えたアメリカのディズニーランドを記念した華やかなメドレーです。緩急ある曲の構成が魅力で、感動的なラストを引き立てます。